



## はじめに

メタデータ	言語: ja 出版者: 大阪公立大学経営学会 公開日: 2024-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 哲 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/0002000587">http://hdl.handle.net/10466/0002000587</a>

## はじめに

昨年3月末をもって、大阪公立大学大学院経営学研究科教授の李捷生先生が定年により退任されました。

李先生は、1957年に中国北京市でお生まれになり、1982年に北京外国語大学日本語学部を卒業。大学卒業後、2年ほど北京市台湾同胞聯宜会に勤務した後、研究者になるため日本に渡り、1988年に東京大学経済学研究科修士課程に入学。同大学院博士課程に進学し、単位取得した後、1997年に東京大学にて博士（経済学）を取得されました。

教員としては、1993年に国士舘大学経済学部経済学科助教授に就任、1996年に大阪市立大学経済研究所助教授に着任されました。その後、改組により、2003年に大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授に転籍し、2006年に教授に昇進。2018年に大阪市立大学大学院経営学研究科教授、2022年に、大阪市立大学と大阪府立大学との統合により、大阪公立大学経営学研究科教授となり、退任後は、特任教授として本研究科の教育研究活動に貢献いただいております。

李先生は、2000年に出版された単著『中国「国有企業」の経営と労使関係—鉄鋼産業の事例（1950年代～90年代）』（御茶の水書房）に代表されるよう、中国の労使問題を中心に、一貫してアジア経済に関して研究しており、多くの論文を執筆されています。また、科研費等の外部資金も、1994年の国士舘大学着任直後から、大阪公立大学で職を終える直前の2020年まで、25年以上にわたり継続して獲得しており、その研究の重要性や研究能力の高さを知ることができます。

教育に関しては、大阪市立大学、大阪公立大学を通して、「東アジア労働経済論」「東アジア企業論」などの専門科目を通して社会人および留学生の大学院教育に携わっており、経営学研究科着任以降は、「アジアビジネス研究プログラム」の中核教員として、留学生の大学院教育を担っていただきました。

本来ならば、李先生の在任中に退任記念号を発刊すべきところですが、都合により1年遅れの発刊となったことをお詫びするとともに、李先生の経営学研究科ならびに商学部、そして経営学会への貢献に対し、あらためて感謝申し上げます。また、李先生におかれましては、ご健康に留意され、これからも活躍されることを祈念して結びの言葉といたします。ありがとうございました。

2023年11月

大阪公立大学経営学会会長

大阪公立大学大学院経営学研究科長・商学部長 小林 哲